

操作が煩雑にならない、複数のモダリティ系のシステムベンダーと接続が可能なシステム



医療情報部 IT 推進課の皆さん

**導入経緯**

操作が複雑化しない、  
 複数のモダリティデータと接続可能なシステム

2014年11月に電子カルテを導入することが決まった際に、将来的なレスポンスを考慮し、電子カルテには画像を添付することは避けたいと考えておりましたので、電子カルテとは別に様々な検査結果が時系列に一画面で確認できるシステムの必要性を感じておりました。その上で、一般の診療現場（外来、病棟）での使用をメインに考えておりましたので、どれだけのモダリティ系のシステムベンダーと接続が可能になるかがポイントとなりました。

そんな当院の要望（機能面、操作性、コストなど）と一番近かったことから選定させていただいたのが STELLAR でした。同様の他システムも複数検討しましたが、STELLAR は他社と比べてもより現場レベルの視点に立って作られたシステムであると思います。

様々なモダリティデータとの接続が本当にできるのか、また既に院内で稼働していた他ベンダーの PACS との連携がスムーズにいくのか、といった不安もありましたが、将来像が見えていたのでそれ以上の期待もありました。

今では、STELLAR を導入できて良かったと満足しています。

**導入システム**

- DICOM 画像管理システム Nazca
- RIS システム NazcaRIS
- 診療情報統合システム STELLAR
- ドキュメント作成&管理システム STELLARReport
- 部門システム ASTRO Launcher

**導入効果**

全モダリティデータの時系列表示で  
 患者さんの状態の把握が簡単に

今まではモダリティ機器から登録されたデータを参照するには、各モダリティベンダーのシステムビューアで参照したり、システムが導入されていない場合は印刷して直接紙ベースで参照することも少なくありませんでした。しかし、全て STELLAR で参照できるようになったことで、書類関係は新設されたスキャンセンターへ運搬し、1箇所でスキャン作業を行うような業務フローも作られました。

STELLAR の導入により、患者さんの状態把握も大変容易になりました。以前までは、特定のモダリティデータしか参照することができませんでしたが、STELLAR では一画面で参照できるモダリティデータが全て時系列で表示されます。部門を越えた情報の参照が可能となり、「今はこんな便利なシステムがあるんだね」と医師からも好評の声が届いています。

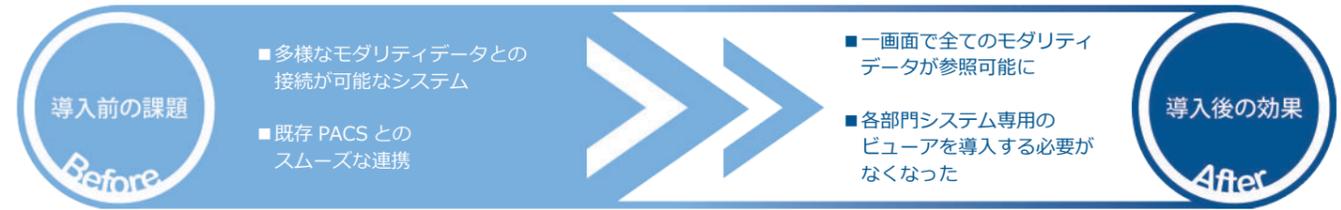
また、STELLAR は汎用的なシステムなので、各部門システム専用のビューアを導入する必要がなくなりました。そのため、ライセンス費用の軽減といったコスト的なメリットもあり、本当に良いシステムだと実感しています。



スキャンセンター作業風景

**今後の方針**

当院は電子カルテ導入を機に VDI 環境も導入しております。今までは地域の紹介医との患者情報の提供は紙ベース、CD-ROM などのデータの受け渡しメインでした。今後は VDI 環境にて STELLAR を活用することにより、より迅速かつ正確な情報提供を可能にし、地域の先生方との連携を密に運んでいけたらと思います。



大阪府済生会中津病院：システム導入時期 / Nov 2014



当院は JR 大阪駅や阪急梅田駅より徒歩 8 分、今話題の「グランフロント大阪」に隣接する都市型総合病院です。全国の済生会 79 病院の中では 3 番目に、そして大阪にある済生会 8 病院の中で最初に設立されました。設立当初はわずか 75 床の病院として設立された中津病院も、2016 年に 100 周年を迎えます。

約 100 年という歳月の間には移転や改築、増床や新たな施設の開設などの様々な変化がありました。その間も地域の中核病院として広く信頼され、大阪市北部や豊中市南部などを中心に済生会設立時の精神である「施業救療」の精神に則り、地域に密着して経済的に恵まれない方々に「無料低額診療事業」を行い、現在でも医療費の減額や医療の無料提供に努めています。

所在地：大阪府大阪市北区芝田 2-10-39

病床数：748 床

診療科：消化器内科・糖尿病内分泌内科・循環器内科・呼吸器内科・膠原病内科  
 血液内科・神経内科・腎臓内科・外科／消化器外科・乳腺外科・整形外科  
 眼科・産婦人科・小児科・免疫／アレルギーセンター・耳鼻咽喉科／頭頸部外科  
 皮膚科・泌尿器科・放射線診断科・放射線治療科・麻酔科・形成外科  
 心臓血管外科・呼吸器外科・脳神経外科・精神神経科・歯科口腔外科・救急科  
 老年内科・病理診断科

**システム構成図**

